

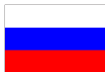
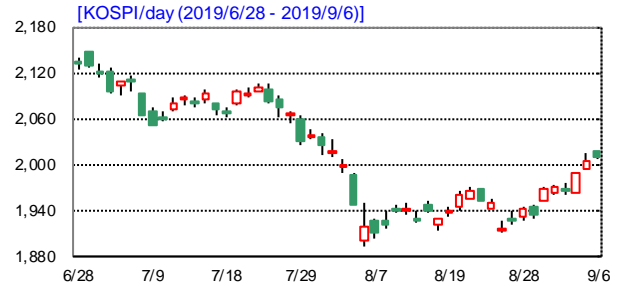


## 【韓国】 総合指数は 2.1%高と 3 週続伸、約 1 カ月ぶりに 2000 ポイントを回復

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 2.1%高と 3 週続伸。週前半は米中相互の制裁関税の発動で貿易摩擦の先行き不透明感が強まり、総じて軟調に推移したが、週半ばの 4 日以降は 3 連騰。5 日には今年 8 月 1 日以来、約 1 カ月ぶりに心理的節目の 2000 ポイントを回復した。香港や英国の政治的混乱への懸念が後退したに加え、米中が 10 月初めにワシントンで閣僚級通商協議を再開すると伝わったことが好感された。米格付け会社が半導体の市況改善見通しを示したことを手掛かりに、半導体の SK ハイニックスや、サムソン電子など主力のハイテク株が買われ、上昇を主導した。今週も米中協議の進展期待が買いを支えるか。国内では雇用統計や 8 月貿易収支の改訂値が発表される。10 日には米アップルの新製品発表イベントが開催される見通し。

▼指数チャート

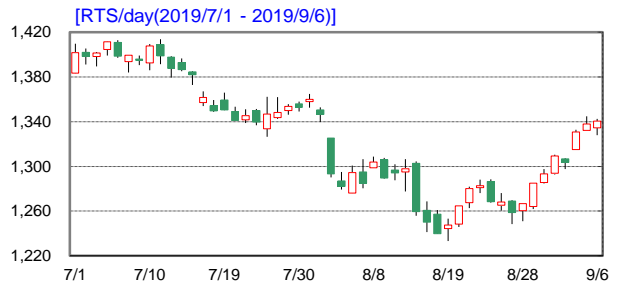


## 【ロシア】 RTS 指数は 3.6%高と 3 週続伸、今週は金融政策への期待が支援か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 3.6%高と大幅に 3 週続伸。ロシア中銀による利下げ観測や米中通商協議の再開に関する報道が好感される中、原油やルーブルの上昇も追い風となった。週明け 2 日はロシア中銀の金融緩和策への期待が広がり、投資家心理が改善。好決算銘柄の上昇も追い風に指数は 1.2%高となった。その後は米中通商協議の再開観測やそれを受けた原油高、ルーブル高などが好感された。指数は 3 日に下落したものの 4-6 日に 3 日続伸し、終値で約 5 週間ぶりの高値をつけた。個別銘柄では、投資子会社を設立するとの発表が好感され、スルトネフチェガス (21.9%高) が急騰。このほかロスネフチ、ズバルバンクなどの上昇が指数を押し上げた。今週は金融政策や米中通商協議への期待が引き続き支援となるか。

▼指数チャート

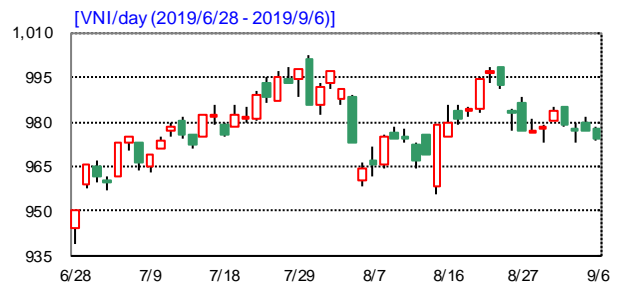


## 【ベトナム】 VN 指数は 1.0%安と続落、今週は米中協議にらみ上値重いか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.0%安と続落。米中関係改善の観測で中国からの企業移転が増えるとの期待が後退した。先週は 2 日が祝日により休場のため 4 日間の取引。米中が 10 月に閣僚級通商交渉を再開すると報じられ、中国からベトナムへの生産設備の移転といった米中貿易摩擦を背景とした恩恵が縮小するとの見方を受けて売りが続いた。前週から米中両国による通商協議再開への観測が広がっていたほか、週後半には 10 月初旬の協議開催が報じられた。指数は 6 日まで 4 日続落し、終値で約 3 週間ぶりの安値を付けた。個別銘柄では、ベトナム航空、サイゴンビール・アルコール飲料、ビンググループなどの下落が指数の重しとなった。今週は押し目買いが期待されるものの、米中通商協議の行方をにらみ、上値の重い展開か。

▼指数チャート

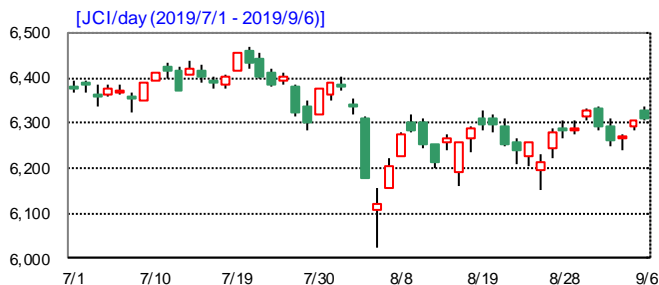


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.3%安、米中閣僚級協議の 10 月開催を好感**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.3%安と反落。週半ば以降は堅調だったが、前半の下落分を補えなかった。週初の 2 日は、米中双方が追加関税を発動し、両国間の緊張が一段と高まった影響で 5 営業日ぶりに反落。同日に発表された 8 月の CPI 上昇率は前年同月比 3.5%と 17 年 12 月以来の高い伸びだった。指数は 3 日も続落したが、4 日は中国の 8 月の財新サービス業 PMI が 4 カ月ぶりに前月を上回った効果で反発すると、5 日は米中貿易交渉の閣僚級協議が 10 月に開催されるとの発表を受けて買われ、終値で 6300 ポイントを回復。6 日まで 3 日続伸して引けている。今週は 10 日に 7 月の小売売上高が発表される予定。

### ▼指数チャート

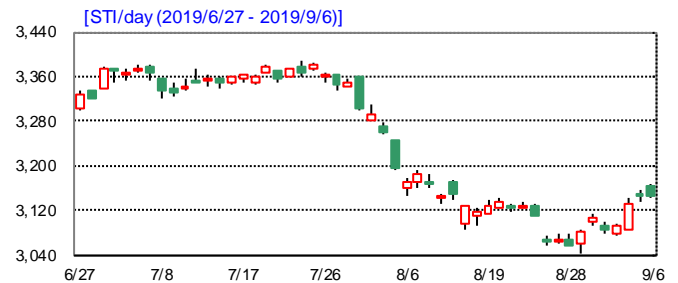


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.2%高、8 月の製造業 PMI は 2 カ月連続で上昇**

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.2%高と 7 週ぶりに反発。おおむね堅調な値動きだった。2 日は米中貿易問題を巡る両国の関係悪化を嫌気し 3 営業日ぶりに反落したが、3 日は 8 月の製造業 PMI の発表を取引終了後に控えた期待感から買われて反発。4 日は製造業 PMI が 49.9 と景況感の分岐点となる 50 ポイントに迫ったことなどが好感され、指数は終値ベースで前日比 1.3%高と続伸した。5 日は工業関連株が指数上昇をけん引し 3 日続伸したが、6 日は反動で売り優勢の展開となり、反落して取引を終えている。今週は 12 日に 7 月の小売売上高が発表される予定で市場予想から上振れすれば株式相場の追い風。

### ▼指数チャート

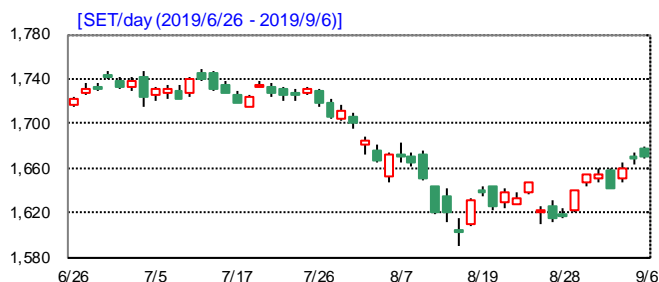


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.9%高、中国からの生産移転に優遇策を発表**

SET 指数は週間で 0.9%高と 3 週続伸。国内要因が指数上昇をけん引した。週前半は続落したものの、4 日はウッタマ財務相が国内経済について、景気後退局面には入っていないと発言したことが好感され、指数は終値で前日比 1.0%上昇。5 日は前日にタイ証券取引所 (SET) が南アジアの電力取引拠点を目指し、プラットフォームを構築する計画についてタイ発電公社 (EGAT) と合意した効果でエネルギー株が買われた。さらに 6 日は米中貿易戦争に伴い、政府が中国からタイに生産拠点を移転した企業に対する優遇策を発表すると、1 カ月ぶりの高値を更新して引けた。今週は前週の勢いを維持できるかが焦点。

### ▼指数チャート

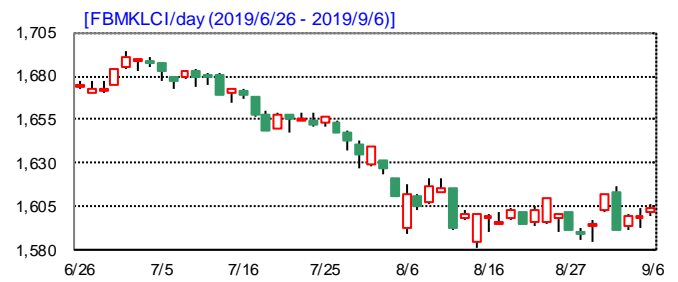


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.5%安、7 月の輸出は中国向けが増加**

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.5%安と 3 週ぶりに反落。連休明けの下落が響いた。3 日は 8 月の IHS マークイット製造業 PMI が 47.4 と 4 カ月連続で前月を下回った影響で、前営業日比 1.3%安。一方、4 日は 7 月の輸出が中国向けの増加を受けて前年同月比 1.7%増と市場予想から上振れた効果で反発した。5 日は前日からほぼ横ばいだったが、6 日は為替相場での米ドル安リング高が好感され、終値で 1600 ポイントを回復している。今週は 11 日に 7 月の鉱工業生産と小売売上高が発表されるほか、12 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。9 日は国王誕生日のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。